

環境調査結果のお知らせ

令和7年6月11日13時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で89,000 cells/m確認されました。ヘテロシグマ・アカシオは漁業被害が想定される密度（50,000 cells/mL）を超えていますので、十分注意してください。なお、本日は着色の原因と考えられるヘテロシグマ・アカシオのみを対象として検鏡しています。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ
A ガラク (1m) 【14:00】	0	23.7	28.6	12.9	89,000
	2	22.9	32.8	9.0	7,600
	5	22.8	33.5	6.8	0
	10	22.2	34.0	6.8	-
	底層 14	22.0	34.1	7.2	-
B 勢井 (3m) 【14:05】	0	23.3	30.3	9.8	4,400
	2	22.9	32.9	7.5	40
	5	22.8	33.5	6.2	0
	10	22.6	33.7	6.2	-
	底層 17.5	21.5	34.2	6.7	-
C 馬の背 (2.3m) 【14:12】	0	23.7	28.6	12.6	3,900
	2	22.9	32.9	8.5	1,100
	5	22.7	33.5	6.3	10
	10	22.3	33.7	6.1	-
	底層 22.5	21.5	34.2	6.7	-
D 大室戸 (1.9m) 【13:40】	0	23.4	27.4	12.2	30,300
	2	22.9	32.5	9.0	5,700
	5	22.8	33.5	6.4	20
	10	22.1	34.0	6.4	-
	底層 19.5	21.6	34.2	7.0	-
E 白浜 (1.7m) 【13:48】	0	23.9	28.0	14.4	36,400
	2	22.8	32.8	8.1	340
	5	22.7	33.5	6.4	0
	10	22.1	33.9	6.4	-
	底層 15.5	21.8	34.1	6.7	-
F 大谷漁港内 (4.4m) 【14:20】	0	22.5	23.0	8.2	100
	2	22.9	33.1	7.1	-
	5	22.7	33.4	6.3	0
	底層 8.5	22.5	33.6	6.0	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ
G 湾奥ブイ (2.2m) 【13:16】	0	23.6	26.7	11.1	1,800
	2	23.0	32.8	9.0	20
	5	22.8	33.5	6.6	0
	10	22.4	33.7	5.8	-
	底層 15.5	21.7	34.1	6.3	-
1 タンポ (1.7m) 【13:30】	0	23.3	27.8	10.8	66,000
	2	23.0	32.9	8.5	750
	5	22.8	33.5	6.3	10
	10	22.1	33.9	5.6	-
	底層 12.5	21.6	34.0	4.9	-

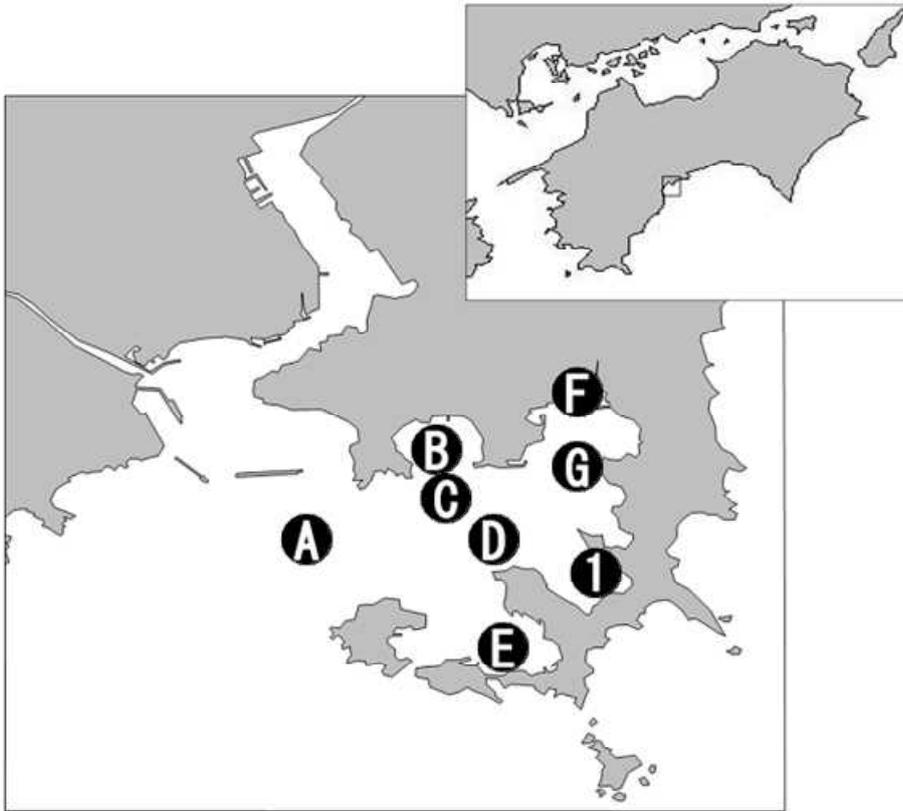
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	-
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	-	-
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	-	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	-	5,000 cells/mL	6~7月	4月	-
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	-	10,000 cells/mL	8~9月	-	-
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	-	/		
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	-	500 cells/mL	8~11月	-	-
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	-	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	-	1 cell/mL	-	-	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 白浜
- F: 大谷漁港内
- G: 湾奥ブイ
- 1: タンゴ